



## 7月に入りました



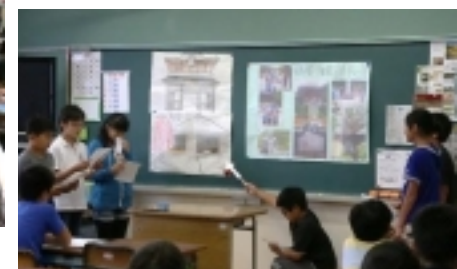
梅雨もまったなか、ぐずついた天気が続きますが、校庭やプールからは元気な子どもたちの歓声が聞こえます。早いもので、7月に入り1学期もあと3週間足らずとなりました。

さて、夏休み前のこの時期、4月に決めた自分のめあてを振りかえり、がんばったことと、不十分であることを整理し、この期間にがんばることを決めてチャレンジしていきたくものです。苦手を克服すると自信が湧いてきます。この自信はきっと他のことにも効果を与えてくれるでしょう。

## 学校公開 お世話になりました。

6月25日・26日の学校公開日には、たくさん保護者や地域の方にご来校いただき授業を参観していただきました。2日間の学校公開では、教室での学習のほか、プールでの学習も参観していただきました。体全体を使った算数の学習、子どもたちが発表の仕方を工夫した町探検や修学旅行の発表、おうちの方の支援をいただいた家庭科での手縫いの学習等、さまざまな活動を参観していただきました。4年生は、昼の時間に、消防署の方をお願いして救命講習会を開催いたしました。夏休みのプールでは、当番として大変お世話になります。また、その日の5校時には4年生の児童向けに救命講習を行いました。貴重な体験となりました。

また学級懇談の中でもご意見をいただきましたので、それらを整理し、学校全体で共有し、これからの学級・学年・学校経営に生かしていきたいと考えます。ありがとうございました。



## 第1回学校評議員会議開催

6月26日の学校公開日に、学校評議員さんの委嘱式を行いました。「学校が地域住民や保護者及び有識者等から幅広く意見を聞き、家庭・地域社会と連携することで、特色ある教育を展開し、開かれた学校づくりを推進する」というねらいをもって、学校評議員会を設置しています。今年度の学校評議員さんは、昨年度に継続して、東地区自治会連合会長の竹之内孝之様、元PTA会長で弁護士の小磯正康様、東公民館長の関根敏夫様、東地区民生委員児童委員副会長の黒崎眞保美様、現PTA会長の狩野恭弘様の5名をお願いをしました。それぞれのお立場でのご意見をいただき、学校運営にいかしていきたいと思ひます。

## 4年生 社会科見学 6月30日



4年生は、社会科の「住みよいくらし」の学習で、六供清掃工場、荻窪清掃工場、敷島浄水場の施設や設備を見学してきました。清掃工場では、前橋市のごみ処理のしくみとそこで働く人の工夫や努力を、敷島浄水場では、浄水場の施設・設備を見学し、前橋市の水道のしくみと働く人の工夫や努力を学習してきました。この後、これらがどのように私たちの住みよいくらしを支えているか考えていけるとよいと思ひます。



笹のはさらさら のきばにゆれる お星様きらきら 金銀砂子  
五色の短冊 わたしが書いた お星様きらきら 空から見てる

【作詞／権藤はなよ 補作詞／林柳波】

7月というとな七夕を連想される方も多いと思ひます。

七夕は、7月7日に行なう星祭りです。七夕の日は、一年に一度だけ「おりひめ(織女)」と「ひこぼし(牽牛)」が天の川の上でデートをする日とする伝説が生まれ、また、この日にちなんで、願ひごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残っています。この習慣は、織女星にあやかってはた織りや裁縫が上達するようにと、7月7日にお祈りをする「乞巧奠(きこうでん)」という中国の行事が日本に伝わり、江戸時代には、短冊に願ひごとを書いて笹の葉に飾るといふ行事が始まったとされているそうです。

短冊に書く願ひごと、これは、その人の目標とも言えます。ただ書くだけでなく、ここに書かれた事柄の実現にむけて、自分で方法を考え、それをこつこつ実行していくことが大切です。